

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	スタイリスト学科
専攻	メイクアップ専攻

授業科目	1年次		2年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員	単位 時間数	実務経験 教員		
オープン実習	140	○	140	○	280	2,17
服飾造形	100		120			3,18
ファッション総論	40	○			40	4
スタイリストワークA	40	○	40	○	80	5,19
トレンド研究			20	○	20	20
ファッションゼミA	40		40	○	40	6,21
ファッションゼミB	80		200			7,22
メイクアップ基礎	80	○			80	8
メイクアップテクニク			80	○	80	23
F. コーディネーション	40	○			40	9
F. コーディネーションB	20					10
デザイン画	40	○	40	○	80	11,24
造形デザイン	40					12
服飾美学	40	○			40	13
色彩学	40	○			40	14
ファッション販売	40	○	60	○	100	15,25
ネイルアート	20	○			20	26
パーソナルカラー検定			40	○	40	27
ディスプレイ	60	○	60	○	120	16,28
パソコンワーク			20			29
キャリア開発			20	○	20	30
ワーク			40			31
卒業制作			40	○	40	32
計	860		960		1160	

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	14
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 (株)アングローバル プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス 人事部、(株)AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等)提出状況 10%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	10
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	洋服の構造、ディテールの名称、縫製方法を知る。 実物を作り、作り手の苦勞を知ることで洋服を丁寧に扱おうという気持ちを生み出す。 スタイリングでトータルコーディネートをする際に、想像したモノを形にする技術を身につける。
授業の概要	衣服の構造と初歩的な縫製技術をマスター。 完成した作品を使って目的にあったコーディネートを学ぶ。 アパレル業界で商品として扱う服の基礎知識を身につける。

授業計画	前 期	4月	・洋裁道具の確認と名称について ・ミシン・ロックミシン講習（業者） ・ピンクッションの製作（手縫いの練習、印のつけ方、待ち針の打ち方を学ぶ）
		5月	・部分縫い（縫い代の袖末の種類と仕方を学ぶ） ・トートバッグの製作（ミシン、ロックミシンの練習） ・シャツ制作（生地準備、型紙作成、地直しの仕方を学ぶ） ・採寸（採寸の仕方、箇所・名称の把握、サイズを学ぶ）
		6月	・シャツ製作（裁断、印付けの仕方、縫製順序を学ぶ）
		7月	・シャツ製作（縫製、仕上げアイロンの仕方を学ぶ） ・部分縫い（まつり縫いの種類と仕方を学ぶ）
		8月	・部分縫い（コンシールファスナーの付け方を学ぶ）
		9月	・シャツ製作まとめ
		10月	
		11月	
		12月	
	後 期	1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題評価70%、出席率20%、授業態度10%

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ファッション総論	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	スタイリスト、コーディネーターの仕事と役割について学ぶ 様々なシーンにおけるファッショントータルコーディネートの実践と提案
授業の概要	2種類の研究テーマを通して、知識だけでなく、実践も行いながらトータルコーディネート学ぶ 東京メイクアップアトリエ「エボック」にてメイクアップアーティストとして活躍、その後当校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリストを牽引している。

授業計画	前期	4月	スタイリスト概論 スタイリストの仕事と役割
		5月	研究テーマ①「マイウィークリーコーディネート」実践 自分自身のワードローブからのコーディネートの実践授業
		6月	
		7月	
		8月	↓
	後期	9月	研究テーマ②「雑誌オリジナル表紙」制作 コンセプトワーク、スタイリング、撮影、仕上げ、プレゼンテーション
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 課題40%

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	スタイリストワークA	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	松永 かずえ	<input checked="" type="radio"/> 必修	<input type="radio"/> 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションスタイリングの基礎知識の習得		
授業の概要	スタイリングテクニックの種類を知り実践する スタイリングマップ製作、トルソー着せつけ、プレゼンテーション (※メイクボックスの代表取締役として、長きにわたるスタイリスト経験を持つ講師が、ファッションスタイリングの基礎知識を教授する。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	スタイリングテクニック オケージョンスタイリング
		11月	スタイリングテクニック カラーコーディネート
		12月	スタイリングテクニック 体型カバー
		1月	
		2月	トータルスタイリングについて
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 50% 課題50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ファッションゼミA	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	進級制作の指導
授業の概要	<p>進級制作における個人テーマ設定からコンセプトワーク及び作品制作を指導。作品完成までの作業指導及びプレゼンテーション指導。</p> <p style="background-color: yellow;">東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍、その後当校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリストを牽引している。</p>

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	進級制作個人テーマ設定、コンセプトワーク①
	10月	進級制作個人テーマ設定、コンセプトワーク②	
	後 期	11月	作品制作
		12月	
		1月	
		2月	↓
		3月	クラス単位でのショーの制作発表

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：作品完成度70% プレゼンテーションテクニック30%</p>

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	8
科目名	ファッションゼミB	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	スタイリストとしてテーマにそってスタイリングする事の重要性を考え、ファッションゼミAでのテーマ設定を踏まえ前期で学んだ縫製技術を活用し作品制作をする。		
授業の概要	テーマにそって作品を縫製しスタイリングする。		
授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	進級制作（型紙作成、裁断、印付け）
		11月	進級制作（縫製）
		12月	進級制作（縫製）
		1月	進級制作（スタイリング）
		2月	進級制作（発表構成）
		3月	進級制作（発表）
		4月	
		5月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 実技30% 出席率15% 授業態度5%		

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	8
科目名	メイクアップ基礎	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	本宮 カズヒロ/島香 淑	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	スキンケアとメイクアップの基礎知識、技術を身につける フルメイクをきちんとスムーズに行えるようになる		
授業の概要	理論、デモンストレーション、相互モデルによる授業進行 【前期】 (株)コーサーにて商品企画、演出、メイクアップアーティストとして活躍、現在は(株)ビュー・マックスにてコーサー、コスメデコルテ専属メイクチームを率いているメイクアップのスペシャリストが担当。 【後期】 ~2017年まで東京、横浜にて他分野にてヘアメイクとして活動後、仙台を拠点に全国へヘアメイクアーティストとして活躍の場を広げている講師が担当する。		
授業計画	前期	4月	スキンケア、トリートメント基礎
		5月	メイク概論、ベースメイク、ポイントメイク
		6月	ベースメイク、ポイントメイク、仕上げ
		7月	フルメイクレッスン
		8月	イメージ表現(甘/辛)導入
		9月	イメージ表現(甘/辛) (甘)キュート・フェミニン (辛)ボーイッシュ・クール
		10月	ナチュラルメイク基礎復習
	後期	11月	テーマ別メイク：ブライダル
		12月	テーマ別メイク：アートメイク
		1月	デザインメイク①
		2月	デザインメイク②
		3月	進級制作用メイクデザイン 練習
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 実技40%		

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ファッションコーディネート	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメイキングツールとしての 要素の基礎を学ぶ		
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、 プレゼンテーションの基礎を学ぶ <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 銀座三愛(現(AI))にて商品企画、マーチャンダイザーを担当。以後当校にて教員 を務め、現在校長として各授業を担当する。 </div>		
授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する4大テーマを 映像学習し、レポートを作成する
		6月	・人はなぜ装うのか？ ・世界のファッションデザイナー ・素材 ・色彩
		7月	オケージョンスタイリング(TPOの概念から対応する ベストコーディネート提案、マップ作り)
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住+遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率50%		

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッションコーディネーションB	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	8大感性を学ぶ事により曖昧なファッションイメージを明確にし、他者に伝える力を養う。同時にWWDを読み解きファッションイメージを他者に伝える為の言葉のツールを増やすようにする。
------------------	---

授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各感性のイメージ分析、マップ作成、スタイリング提案。 ・各自でWWDの中から興味のある記事を選び、言葉の意味を調べ、内容分析をしレポートを作成する。
-------	--

授業計画	前期	4月	①フェミニン イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		5月	②マニッシュ イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
			③スポーティブ イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		6月	④エレガンス イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
			⑤エスニック イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		7月	⑥モダン イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		8月	⑦クラシック イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
		9月	⑧アバンギャルド イメージ分析、マップ作成、スタイリングの提案
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題80% 出席率15% 授業態度5%
------	--------------------------------------

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	北澤 春江	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画を習得し、人体のバランス及びウェアの特徴を理解する
授業の概要	<p>ヌードプロポーションの基礎から応用までを描く デザインディテールを理解し、デザイン画として表現する</p> <p style="background-color: yellow;">ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当していた。以後当校で長年デザイン画を教授している。</p>

授業計画	前期	4月	授業予定や目標、デザイン画の役割
		5月	ヌードプロポーションの基礎
		6月	ヌードプロポーションの応用
		7月	部分練習 顔、手、足
		8月	着装プロポーション
		9月	着装プロポーション
	後期	10月	ファッション誌の写真模写
		11月	マテリアルの描き方
		12月	マテリアルを活かしたデザイン画
		1月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		2月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率50% 課題50%</p>

学科名	スタイリスト	履修年次	1		
コース名	メイクアップ	単 位	4		
科目名	造形デザイン	授業期間	前期 後期 通年		
担当教員名	西條 綾子	必修	選択		
授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイデアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。				
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。				
授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔	
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る	
		6月	パターンデザイン	ゆっくり見る 屋外デッサン	
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①	
		8月	色の模写	光と影の描き方②	
		9月	ミクスドメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証	
	10月	ミクスドメディア・コラージュ			
	後期	11月	ヴィジュアルブック		
		12月	ヴィジュアルブック		
		1月	デッサン		
		2月	授業のまとめ		
	3月				
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況 40% 課題完成度 40% 授業態度 20%				

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	服飾美学(素材学、ビューティー、服装史)	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	門馬 よし子/小幡 賢二/大宮 恵理	(必修)	選択

授業の到達目標 及びテーマ	(素材)洋服を制作する際に必要な素材の特徴、基本的な布地名、クリーニング法、被服の保管・加工法などの勉強。(ビューティー)ファッション業界でのスタイリスト、メイクアップアーティストの仕事と役割、世界観を学ぶ。(服装史)服装の成り立ちから現代のファッションデザインソースへの創造力の育成、服飾基礎理解と固定概念からの脱却。
授業の概要	(素材)洋服を具体的な形にするための知識とそれをどのような素材で制作するか等の性質の特徴を習得する。(ビューティー)在仙で活躍するスタイリスト、メイクアップアーティストがテーマに合わせたテクニックを披露する。(服装史)海外ファッションと日本のファッションの関わりを理解。 大宮恵理：㈱ジュン、イギン㈱、㈱リーガルマインドを通してパタンナー、デザイナー、そしてライセンスコーディネーターとして活躍していた。

授業計画	前期	4月	繊維の種類と特徴と分類(素材)
		5月	天然繊維の知識・動物繊維の知識(素材) 2019年春夏メイクトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)
		6月	羊毛についての知識・化学繊維の知識(素材) 2019年ブライダルビューティー学(ビューティー)
		7月	基本的な布地の名称・織物の三原組織(素材)
		8月	プリント柄の分類及び名称(素材)
		9月	ストライプ&チェック柄の名称(素材) 2019年秋冬メイクトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)
	後期	10月	服地の表裏・たて・よこの見分け方、燃焼による布地の鑑別法(素材) 世界服飾の流れ、ヨーロッパのファッション史Ⅰ&Ⅱ(服装史)
		11月	家庭用合成洗剤のあらまし及びクリーニング法(素材) モード産業、新しい衣服の方向Ⅰ(服装史)
		12月	被服の保管(素材)
		1月	しみの種類としみ抜き方法・加工法について(素材) 新しい衣服の方向Ⅱ、後期試験(服装史)
		2月	試験解答手交、解答説明(服装史)
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% レポート25% 試験25%

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	色彩学	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志	必修	選択

授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み＝混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性を理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。 (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤む講師がファッション業界の様々な知識を教授する。

授業計画	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する
		7月	光と色 色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係
		8月	色の三属性 色の視覚的効果
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色
	後期	10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題
		11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用
		2月	光の性質と色 照明の知識
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%
------	---

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ファッション販売	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	接客のマナーやアパレルに基礎知識を学ぶことで、販売スタッフの役割とアパレル業界全体を知る。トレンド情報を始めとして情報収集能力を身に付ける。ファッション販売能力検定3級取得。
授業の概要	<p>素材、アイテムの知識など、現在の販売スタッフに不可欠な専門知識を学ぶ。 ITが進化する中、実店舗の販売スタッフの役割を理解する。VMDの基本理解。</p> <p>(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。</p>

授業計画	前期	4月	洋服が出来るまで。アパレル流通の流れを知る。 2019トレンド情報から実店舗のトレンドを理解する。
		5月	ファッション業界における職種と販売という仕事の役割。 販売の基礎知識と社会人としてのマナー。
		6月	小売店の業種と業態。小売店の種類。 SPA、OEM、ODMなど現在の物づくりの仕組み
		7月	提案できる販売スタッフになるために必要な知識。 AIDMAの法則から販売スタッフの行動を理解する。
		8月	ライフスタイル提案型ショップとSPAの台頭。 服飾雑貨、インナーの基礎知識
		9月	アイテムの知識 洗濯表示
	後期	10月	素材の基礎知識と、お手入れの方法 店舗運営の基本
		11月	VMDの基礎知識 マーチャンダイジングの基礎知識
		12月	ファッション業店舗のマーケティングの基本 販売業務と付帯業務
		1月	ファッション販売検定2級対策として用語の整理 2020SS、AWトレンド情報からトレンド予測
		2月	キャリアプラン。職種と役割を知る ファッション販売売力検定2級対策基礎
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
----------	-----------------

評価方法	<p>A～D・E 評価</p> <p>評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%</p>
------	--

教育課程

学年・科名	スタイリスト学科	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単位	6
科目名	ディスプレイ	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	佐々木 美穂	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ディスプレイ技術の基本・基礎知識の習得を目標とする		
授業の概要	ビジュアルマーチャンダイジング（VMD）を学びディスプレイの目的を習得する。演習を行いながらテクニックや発想力を鍛える。 ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍している傍ら、本校のディスプレイ指導にあたる。		
授業計画	4月	リアル店舗の役割について学ぶ	
	5月	購買心理を学習 イメージをデザインにする演習	
	6月	VMDと構成 演習を行いながらマネキン、什器を学ぶ	
	7月	テグスワーク・ピンワークを学習 トルソーを使い、各自作品を制作	
	8月		
	9月	コーディネート、スタイリング、フォーミングの学習	
	10月	年間イベントのテーマに沿った表現方法を学習	
	11月	ラッピング技術を学習 用途に合わせたラッピング方法を学ぶ	
	12月	グループでの校内ショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)	
	1月	グループでの校内ショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)	
	2月	行内のショーウィンドウ制作をとおして年間学習を総括	
	3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率40%、課題20%、授業態度20%、実技20%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	14
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	各学科担当者、講師	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習 (株)アングローバル プレス、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス 人事部、(株)AZOTH代表、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、		
授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	12
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作（実物作品）の為に必要なパターン・縫製の応用知識を学ぶ。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・縮尺でのパターンの学習。 ・部分縫いの伴ったアイテムの制作。 ・実際に学んだパターン力を活用しての作品制作 (学校見学会ファッションショー) 		
授業計画	前 期	4月	パターンメイキング（原型）
		5月	パターンメイキング（袖、衿、デザインの応用） 学校見学会ファッションショー 作品制作（パターン）
		6月	学校見学会ファッションショー 作品制作（縫製）
		7月	パンツ制作
		8月	パンツ制作
		9月	卒業制作（個人テーマ決め・ミーティング）
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 実技30% 出席率15% 授業態度5%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	スタイリストワークA	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	松永 かずえ		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	イメージ、テーマに沿ったトータルスタイリングの提案及び フォトブック製作		
授業の概要	イメージを表現するスタイリングマップ製作、ヘアメイク、トータルコーディネート 撮影実習 (※メイクボックスの代表取締役として、長きにわたるスタイリスト経験を持つ講師が、ファッションスタイリングのノウハウを教授する。		
授業計画	前 期	4月	テーマを決めるミーティング
		5月	トータルスタイリング作品①②
		6月	トータルスタイリング作品②
		7月	トータルスタイリング作品③④
		8月	
	後 期	9月	トータルスタイリング作品⑤
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 50% 課題50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	トレンド研究	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	現在のファッショントレンドを理解する上で、戦後日本のファッションの歩み、1950年～2000年の年代別に焦点をあて、その年代の社会背景等を分析し、その年代の再現に今の感性をプラスしてスタイリングをする		
授業の概要	<p>グループワークを通じて、情報収集から分析、新たなオリジナルコーディネートを作成させる</p> <p style="background-color: yellow;">東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍、その後当校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリストを牽引している。</p>		
授業計画	前期	4月	年代別トレンド分析①
		5月	年代別トレンド分析②
		6月	年代別トレンドマップ制作
		7月	オリジナルコーディネート作品制作及び撮影
		8月	プレゼンテーション(ステージ発表)
	後期	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 課題40%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ファッションゼミA	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修 選択

授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作の指導
授業の概要	卒業制作における個人テーマ設定からコンセプトワーク及び作品制作を指導(トータルコーディネート)。ファッションイベントへ向けてのブラッシュアップ指導。 東京メイクアップアトリエ「エボック」にてメイクアップアーティストとして活躍、その後当校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリストを牽引している。

授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	卒業制作個人テーマ設定、コンセプトワーク①
	後 期	10月	卒業制作個人テーマ設定、コンセプトワーク②
		11月	作品制作
		12月	↓
		1月	↓
		2月	個人プレゼンテーション、仕上げ、手直し
		3月	
		3月	

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：作品完成度70% プレゼンテーションテクニック30%

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	20
科目名	ファッションゼミB	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作のテーマにそって想像したものを形（洋服）にできるように指導する。 審査終了後の各自の作品をファッションイベントにむけて再指導をし更にレベルアップできるようにする。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションゼミA（卒業制作の構成指導）からの縫製指導。 ・メイク・撮影の為の準備時間。 		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作（型紙作成、裁断、印付け）
		11月	卒業制作（縫製、メイク、撮影）
		12月	卒業制作（発表準備）
		1月	ファッションイベント（卒業制作発表会）準備
		2月	ファッションイベント（卒業制作発表会）
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 実技30% 出席率15% 授業態度5%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	8
科目名	メイクアップテクニク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	島香 淑		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションが産み出すテーマやイメージを、より活かして表現する為のトータルバランスをヘアメイクでも実現できる様に、知識と技術を学ぶ		
授業の概要	<p>ナチュラルメイクから、ファッション・トレンドメイク技術へレベルアップさせる。撮影、舞台メイクの違い、技術の習得。</p> <p style="background-color: yellow;">【後期】～2017年まで東京、横浜にて他分野にてヘアメイクとして活動後、仙台を拠点に全国へヘアメイクアーティストとして活躍の場を広げている講師が担当する。</p>		
授業計画	前期	4月	ナチュラルメイクの復習
		5月	トレンドメイクの基礎
		6月	オープンキャンパス用のメイク練習 デザインの考案
		7月	トレンドメイクの応用
		8月	モデルに合わせたトレンドメイクをデザイン
		9月	舞台・ショーメイクの基礎
	後期	10月	舞台・ショーメイクの応用
		11月	ファッションイベント作品のメイクデザイン考案、練習
		12月	ファッションイベント作品のメイクデザイン決定、練習
		1月	ファッションイベント作品のメイク練習
		2月	ファッションイベントでのメイク本番
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 実技40%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	北澤 春江	(必修)	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ウェアやファッション小物も含めてデザイン画として表現する		
授業の概要	テーマに沿ったデザイン画を描けるようにする コーディネート提案など実践で役立つデザイン画を描く <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当していた。以後当校で長年デザイン画を教授している。 </div>		
授業計画	前期	4月	アイテム画の基礎と応用
		5月	フィギュアポーズプロポーション
		6月	ポーズバリエーション
		7月	カテゴリー別の描写
		8月	素材を活かしたデザイン画
		9月	布地を使用したコラージュ
	後期	10月	卒業制作に向けてのデザイン画考案
		11月	卒業制作のデザイン画
		12月	卒業制作のデザイン画
		1月	修了課題
		2月	修了課題
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	6
科目名	ファッション販売	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界の現状と今後を理解することでアパレル業界を知る。 資格を取る為の勉強から資格を取ることの意味を考え達成感を得る。 ファッション販売能力検定2級取得。		
授業の概要	IT社会が拡大する中で、即戦力となる販売力と、コミュニケーション能力を身に付ける。今後必要な情報収集の方法を理解する。 (株)オンワード樺山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業計画	前 期	4月	実店舗における販売スタッフの役割 ネットショップとの差別化を図る為に必要なコミュニケーション
		5月	情報収集の方法と活用方法
			情報誌、専門紙からトレンドを予測する
		6月	お客様が求めている販売員とは何かを会話を通して理解する タイプ別コーディネート提案
		7月	ライフスタイル提案ショップ 服飾雑貨の知識
		8月	クレームの発生原因と未然に防ぐ方法 クレームが発生した時の対処方法
	後 期	9月	衣服のお手入れの知識。洗濯表示 素材、アイテムの知識
		10月	配色の知識と色から伝わるイメージ TPOとカラーコーディネーション
		11月	副資材の知識、サイズの知識 VMDと売場づくり
		12月	マーケティングの知識 月別MDの手法
		1月	
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ネイルアート	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	二子 千誉	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ネイリスト技能検定試験3級の取得を目指し、必要な知識と実技を習得		
授業の概要	基本的な用語・用具などの使い方から実践まで、3級試験の流れを学ぶ <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ネイルサロンヴィーグル、Nail Studioよつばにてネイリストとして勤務。現在も第一線で活躍する講師がネイリストに必要な知識を技術を教授する。 </div>		
授業計画	前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・用具、用材の取り扱いの説明 ・テーブルセッティング ・ファイリング(ファイルの使い方、爪の形を整える)
		5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリング ・ニッパーの使い方(ルースキューティクル、ささくれ、汚れ等の除去の仕方)
		6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッパーの使い方 ・カラーリング練習(ベースコート、ポリッシュ、トップコート)
		7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッパーの使い方 ・カラーリング練習 ・フラットアート練習(フラワー)
		8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッパーの使い方 ・カラーリング練習 ・フラットアート練習 ・相互モデルでの練習
		9月	<ul style="list-style-type: none"> ・3級検定対策(試験の流れを確認) ・筆記問題(過去問)
		10月	<ul style="list-style-type: none"> ・3級検定対策(模擬試験)
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	後期		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	パーソナルカラー検定	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	本間 章		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	パーソナルカラー理論の理解 コミュニケーション能力の習得 パーソナルカラーコンサルタント3級資格取得		
授業の概要	色彩理論、パーソナルカラー理論の習得 パーソナルカラー実技の習得 パーソナルカラー検定取得 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; margin-top: 5px;"> (有)ITAカンパニー取締役としてブライダルプロデュースを手掛け、NPO法人プロカラーデザイン協会にて理事を務める講師が担当する。 </div>		
授業計画	前期	4月	色彩理論
		5月	パーソナルカラー理論 実技 学習テスト
		6月	↓
		7月	↓
		8月	課題提出、模擬テスト、検定試験
	後期	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題30% 出席率40% 授業態度20% 実技10%		

教育課程

学年・科名	スタイリスト学科	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単位	6
科目名	ディスプレイ	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	佐々木 美穂	必修	選択
授業の到達目標 及びテーマ	ショップ・展示会・ステージ装飾などで生かせる企画・プラン・制作・施工 コーディネートをトータルで行えることを目標とする。		
授業の概要	グループでのショーウィンドウ制作を通じ、テクニックの向上と多方面に活かせる ストアディスプレイの理解を深め、コミュニケーション力とプレゼン力を鍛える。 ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍している傍ら、本 校のディスプレイ指導にあたる。		
授業計画	4月	ディスプレイのカラー学習	
	5月	一点透視画法でのプラン画制作	
	6月	グループでの校内のショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	グループでの校内のショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)	
	11月		
	12月	ストアディスプレイを学習、レポート制作② (VPについて)	
	1月	ストアディスプレイを学習、レポート制作③ (IP・PPについて)	
	2月	ショーウィンドウ制作を通して年間学習を総括	
	3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20%、課題20%、授業態度20%、実技20%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	パソコンワーク	授業期間	(前期) 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	パソコンによる基本的なグラフィックデザインと動画編集を経験し、卒業制作における各自のプレゼン用動画の制作と、企画書のデザインが出来るようにする。		
授業の概要	「イラストレーター」と「フォトショップ」の基本機能の説明 簡単なグラフィックデザインの制作 簡単な動画編集の演習と作品制作		
授業計画	前 期	4月	授業の説明 イラストレーターによる名刺のデザイン
		5月	イラストレーターとフォトショップによる画像の合成 ポストカード制作
		6月	転写プリント（エコバッグ・Tシャツなど）
		7月	
		8月	スライドショー制作
		9月	企画書の表紙デザイン・授業のまとめ
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	キャリア開発	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする		
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (株)ユニクロ、三越伊勢丹ホールディングス(株)にて人材育成を担当した教員が就職活動のノウハウを教授する。 </div>		
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

学年・科名	スタイリスト学科	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	ワーク	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	宇賀神 美弥子		必修 選択
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を期限内に終わらせる為に作業を進める事を目的とする。 卒業制作終了後は課題制作時間とファッションイベント活動等の時間となる。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作の実物制作 ・企画書 ・プレゼン準備 ・ファッションイベント活動 		
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	卒業制作	実物制作
	11月	卒業制作	実物制作・企画書、プレゼン準備
	12月	卒業制作	実物制作・企画書、プレゼン準備
	1月	課題制作補助 ファッションイベント活動	
	2月	課題制作補助 ファッションイベント活動	
	3月	課題制作補助	
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準： 出席率80% 授業態度20%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	小幡 賢二		(必修) 選択
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。		
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備 東京メイクアップアトリエ「エボック」にてメイクアップアーティストとして活躍、その後当校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリストを牽引している。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		